

資料 1

令和5年度 第2回

# 会津美里町地域創生・ 人口減少対策有識者会議



2024.02.16 Fri 09:30~

会津美里町役場本庁舎

2階 203/204会議室

# Agenda



# 国による総合戦略の改訂

## ■背景

令和4年12月に、国において、従来の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が抜本的に改訂され、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すデジタル田園都市国家構想の実現に向け、令和5年度を始期とする5か年の『デジタル田園都市国家構想総合戦略』が策定されました。

**市町村においても国の戦略を踏まえた総合戦略の策定に努めることとされた**ため、**町の次期総合戦略は、国のデジ田構想を踏まえて策定することとなります。**

# デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像

## 総合戦略の基本的考え方

- ★ テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、**今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- ★ **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- ★ デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化。**
- ★ **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

### ＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

## 施策の方向

### デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

#### デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**  
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**  
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**  
結婚・出産・子育てでの支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**  
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

### デジタル実装の基礎条件整備

#### デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**  
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**  
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**  
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

## 地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

### ＜モデル地域ビジョンの例＞

- **スマートシティ スーパーシティ**  
スマートシティ AICT（福島県会津若松市）
- **「デジタル」中山間地域**  
担い手減少に対応した自動草刈機の導入
- **産学官 協創都市**  
データを活用したスマート農業の取組（高知県・高知大学）
- **SDGs未来都市**  
地域交通システムやコミュニケーションロボットの活用（宮城県石巻市）
- **脱炭素 先行地域**  
バイオマス発電所稼働による新産業の創出（岡山県真庭市）

### ＜重要施策分野の例＞

- **地域交通の リ・デザイン**  
自動運転バスの運行（茨城県境町）
- **こども政策**  
保健師等とのオンライン相談（山梨県富士吉田市）
- **教育DX**  
オンラインによる遠隔合同授業（鹿児島県三島村）
- **地域防災力の向上**  
GPS除雪管理システムの導入（山形県飯豊町）
- **地方創生 テレワーク**  
空き蔵を活用したサテライトオフィスの整備（福島県喜多方市）
- **観光DX**  
観光アプリを活用した混雑回避・人流分散（京都府京都市）

### 地域ビジョン実現を後押し

#### ＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

#### ＜地域間連携の例＞

デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

国が改訂した総合戦略

# 町の次期総合戦略

■期間（案） 令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）

■名称（案） 会津美里町デジタル田園都市構想総合戦略

## ■総合計画（町の最上位計画）との違い

総合計画：地方公共団体の総合的な振興・発展等を目的とする。

総合戦略：デジタルの力を活用した地方創生を目的とする。（**デジタルを活用した内容に特化**）

※国においても、総合戦略は、総合計画と一体とせず、単独での策定を求めています。

# 次期総合戦略のフレーム

フレームは現行の総合戦略と同じです

地域ビジョン（町が目指すべき理想像）—— 総合計画の目指す町の姿と整合性を図る

目標

4つの類型ごとに**数値**目標として設定する。  
地方に仕事をつくる、人の流れをつくる、  
結婚・出産・子育ての希望をかなえる、魅力的な地域をつくる

基本的方向

上記目標達成のためにどのような政策を推進していくかを基本的方向として**記述**する。

具体的な施策  
(重要業績評価指標・KPI)

達成度合いの検証と住民等対外的な説明を可能とするため**アウトカム**に関する指標を設定する。

事業 事業 事業 . . . . .

# KPI（重要業績評価指標）とは

■KPI（重要業績評価指標：Key Performance Indicator）とは、目標を達成するための取組の進捗状況を**定量的に測定するための指標**です。

■取組をPlan（計画）し、それをDo（実施・実行）に移し、その取組内容をCheck（点検・評価）し、Action（改善）を進めていくというPDCAサイクルを確立するために、**取組の状況や効果を評価**できるKPIを設定します。

## ■KPI設定の視点

- ・ 成果の客観性…アウトカム指標であること、測定可能であること
- ・ 取組との直接性…達成目標との明確な因果関係があること
- ・ 妥当な水準…×容易に到達できる低すぎる目標設定、×実態とかけ離れた高すぎる目標設定、○費用対効果の観点から妥当といえる

# 「アウトプット」と「アウトカム」の考え方

## ■アウトプット

施策の活動量（役場が何をするか）

## ■アウトカム

施策の直接的な効果（アウトプットを行った結果の成果）

→ KPIはアウトカムベースで設定し、「住民がどのような状態になったか」を踏まえて効果検証を行う

## ■国が示すKPI設定の例

- ・スマート農業導入経営体数（アウトプット：スマート農業導入補助金交付件数 など）
- ・サテライトオフィス利用者数（アウトプット：サテライトオフィスの整備件数 など）

# 国の財政支援との関連

■ **地域再生計画** ≡ **総合戦略のダイジェスト版**。総合戦略と並行して策定します。国の認定が必要です。

■ **総合戦略と地域再生計画を策定することによって受けられる財政支援**

- ・ デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生推進タイプ、地方創生拠点整備タイプ）
- ・ 企業版ふるさと納税
- ・ （特定）地域再生支援利子補給金
- ・ 公共施設等の除却に関する事業に係る地方債の特例 など多数

令和7年度以降に上記の財政支援を受けたい事業は、総合戦略や地域再生計画に漏れなく記載する。

# 人口ビジョンの見直し

## ■総合戦略と人口ビジョンの関係

現行の第2期総合戦略は、人口ビジョン（令和27年までの推計）と併せて策定しました。国から、令和6年半ばまでに、人口動向分析・将来人口推計についての基礎データ、分析項目、分析例等の情報が提供される予定であり、本町においては、これらの情報をもとに現行の人口ビジョンを改訂する見込みであることから、次期総合戦略は、現行の人口ビジョンを踏まえて当初策定を行い、人口ビジョンの改訂状況を踏まえて適宜改訂します。

# 策定の流れ

## ■令和5年度

- 10・11月 職員ワーキンググループの開催、  
アイデア抽出
- 11月 ワーキンググループの結果を町本部  
会議に報告
- 12月 次期総合戦略の素案作成
- 1月 KPI設定
- 2月 有識者会議に素案を提出
- 3月 町本部会議に素案を提出

## ■令和6年度

- 5月 議会に説明（概要）
- 6月 住民懇談会開催
- 9月 議会に説明（本説明）
- 9月 パブリックコメント実施
- ➔ 有識者会議、本部会議で最終修正
- 12月 議会で説明（最終）
- ➔ 12月中に総合戦略を策定
- 1月 国へ地域再生計画の認定申請
- ➔ 3月中に地域再生計画認定

※上記は概略です。有識者会議は3回程度開催予定です。

# ワーキンググループによるアイデア抽出

## ■ワーキンググループの内容

行政サービス上の課題の洗い出しとデジタル技術を使った課題解決アイデアの抽出、KPI（案）の設定

## ■ワーキンググループの参加職員

- ・すべての課から70名程度（行政職の半数）が参加
- ・係員クラスと係長クラスに分け、課題の洗い出しから解決アイデアの抽出、KPI設定までひと続きのワークとして実施
  - 広い視野での施策間・業務間連携も検討する
  - 実務者レベルのアイデアを反映（日頃住民から寄せられている意見を含める）

## ■ワーキンググループのマインドセット

- ・「デジタルを活用する」、「総合戦略を策定する」、、、、 これらはいくまで【手段】
- ・【目的】は、「住民に喜んでもらうこと」  
住民に喜んでもらうための事業や行政サービスなどを取りまとめたものが次期総合戦略となる。
- ・「住民」を「町民、町内事業者、関係人口の総称」として用いる。

# ワーキンググループの役割

地域ビジョン（町が目指すべき理想像）—— 総合計画の目指す町の姿と整合性を図る

目標

4つの類型ごとに**数値**目標として設定する。  
地方に仕事をつくる、人の流れをつくる、  
結婚・出産・子育ての希望をかなえる、魅力的な地域をつくる

基本的方向

上記目標達成のためにどのような政策を推進していくかを基本的方向として**記述**する。

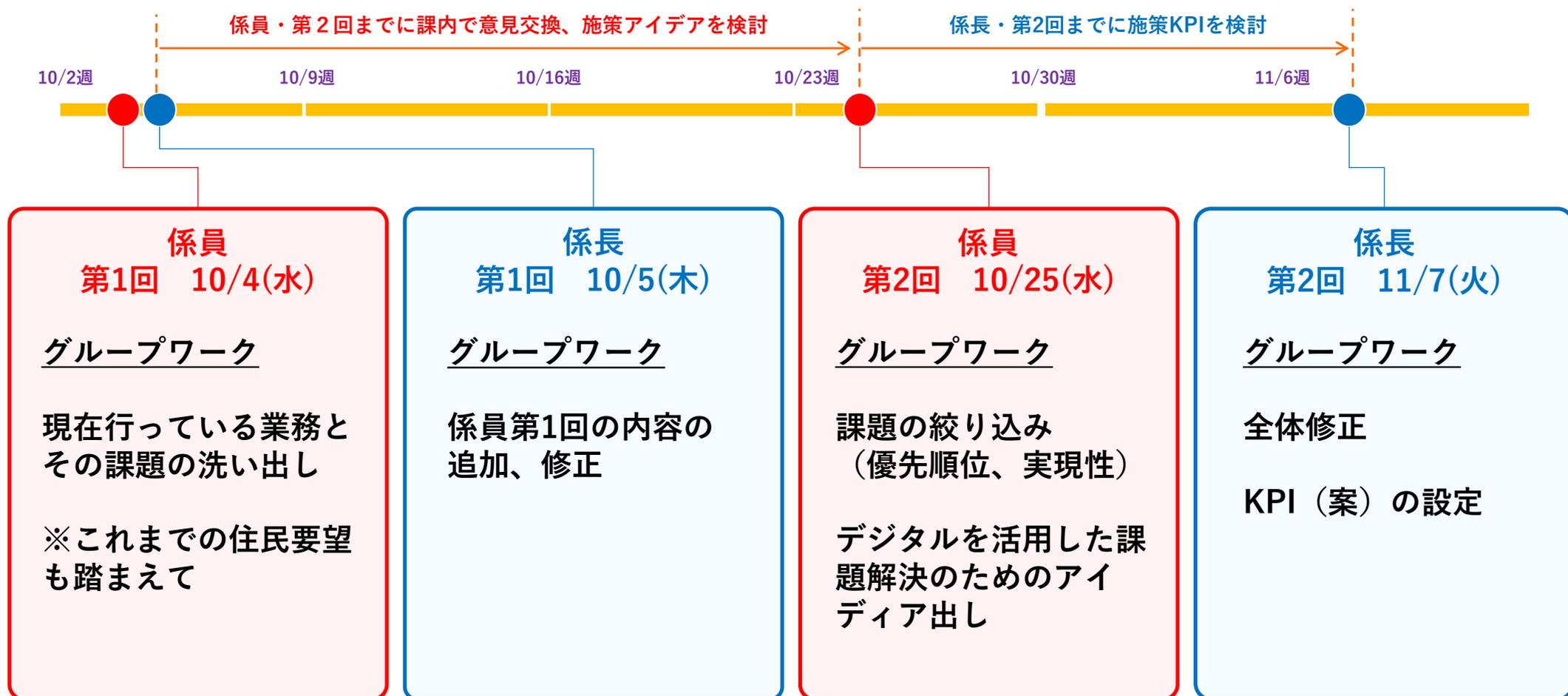
具体的な施策  
(重要業績評価指標・KPI)

達成度合いの検証と住民等対外的な説明を可能とするため**アウトカム**に関する指標を設定する。

事業 事業 事業 . . . . .

ワーキンググループでのアイデア出し

# ワーク全体像（全4回）



ひと続きのワーキンググループとして運用

# ワーキンググループの実施に際して

## ■DX研修の開催

職員が「DXとは何か」、「DXの必要性」、「どんなデジタルツールを使うとどんなことが可能になるのか」を学んでからワーキンググループを開催し、効果的な運用を図りました。また、外部コンサルタントを活用し、目的志向やサービスデザインの考え方について改めて学びました。

## ■DX担当部署との連携

ワーキンググループの内容をDX担当部署（総務課防災情報係）と共有し、今後各課でデジタル技術を活用した行政サービスを展開していくにあたり、庁内全体のデジタル基盤の整備について、必要性や優先度の検討に活かすこととしました。

## ■子ども・子育て会議の活用

総合戦略は、町の大きな方向性を決めることとなるため、子育て世代の意見を反映させるべく、町子ども・子育て会議に参加し、子育て支援・保育施設や学校におけるデジタル活用に関する意見をいただきました。



### 民間企業の先行事例から住民が喜ぶまちづくり「衣食住」

#### ユニクロ

「MySize CAMERA」&「MySize ASSIST」

カメラを使って正確に体を検出し、機械学習により、利用者にあったサイズを提案するサービス



## ▼アイデア抽出



## アイデア例▶

項目		各課入力内容		
課・係名	生涯学習課 生涯学習係			
関連する総事業（事務事業）名称 ※複数記載可	複合文化施設管理運営事業			
総合戦略上の分類 （該当するものを■で選択）	<input type="checkbox"/> 地方に仕事をつくる <input type="checkbox"/> 人の流れをつくる <input checked="" type="checkbox"/> 結婚・出産・子育ての希望をかなえる <input checked="" type="checkbox"/> 魅力的な地域をつくる			
課題 ※係員第2回WGから転記	公共施設の利用予約が紙ベースのみで不便だし、空き状況も役場へ問い合わせないとわからない			
課題の背景 ※係員第2回WGから転記	【施設利用希望者】申込の度に各施設の窓口に行かなければならない、施設の空き状況がわからない、団体同士で施設の奪い合いになる 【町】予約の管理が煩雑			
【直接性】 対象となる住民（町民、事業者、関係者など） ※係員第2回WGから転記	施設利用希望者			
【直接性】 デジタルによる課題解決アイデア （①何をつかって②誰を③どういう状態にするか） ※係員第2回WGから転記	①申込受付のオンライン化により ②施設利用希望者が ③スマホ等からいつでもどこからでも申し込みや空き状況の確認ができるようにする			
デジタル活用アイデア ※係員第2回WGから転記	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設予約システムの構築</li> <li>システムの周知</li> <li>システムの利用説明</li> </ul>			
上記デジタル活用による課題解決の実施（予定）時期	■実施済 <input type="checkbox"/> R6 <input type="checkbox"/> R7 <input type="checkbox"/> R8以降			
【参照性】 他自治体での取り組み状況	※参考にした事例があれば記入			
【妥当性】 期待する効果（対象となる住民が喜ぶイメージ）	スマホ等からいつでもどこからでも申し込みや空き状況の確認ができる			
【妥当性】 副次的な効果（実施することでの職員のメリット）	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用予約に関するルールが統一化（徹底）される</li> <li>紙ベースの申請書を手入力する手間が省ける</li> <li>すべての施設について予約状況を随時確認できる</li> </ul>			
KPI設定の視点 KPI <input type="checkbox"/> Specific （具体的な） <input type="checkbox"/> Measurable （計測可能な） <input type="checkbox"/> Achievable （達成可能な） <input type="checkbox"/> Relevant （関連した） <input type="checkbox"/> Time-bounded （期限を定めた）	アウトプット （施策の活動量）	指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインで予約可能な公共施設の数（〇〇施設）</li> <li>予約システム利用者向け説明会の開催件数</li> </ul>	目標数値 (仮) R8: ※ R9: 目標数値は R10: 別途設定を R11: 依頼 R12:
	★役場が回をするか	計測方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設単位でカウント</li> <li>開催ごとにカウント</li> </ul>	
アウトカム （施策の直接的な効果）	★上記の行政サービス等を役場が行った結果の成果	指標	オンライン予約システムの利用件数（件）	目標数値 (仮) R8: ※ R9: 目標数値は R10: 別途設定を R11: 依頼 R12:
		計測方法	申請受付件数をシステムにより把握	

## 職員の参加▶



# 令和6・7年度の委員委嘱について

## ■会議名の変更

令和6年度から、「会津美里町まち・ひと・しごと創生有識者会議」に名称が変更します。

## ■委員の任期と委嘱依頼

令和5年度で現在の任期が終了となります。令和6・7年度（2年間）の委嘱について、令和6年3月下旬に選出依頼をお送りします。お手数ですが選出についてご検討をお願いいたします。

## ■令和6年度会議開催予定

第1回 7月 次期総合戦略に関する新たな委員への概要説明、住民懇談会の結果報告

第2回 8月 現行の総合戦略の令和5年度効果検証

第3回 11月 次期総合戦略最終案の協議

※予定は今後変更となる場合があります。